



妻西中キャラ めにしちゃん

学び磨き鍛える

正しい判断力とたくましい実践力を
もった妻沼西中生を育む学校

発行 熊谷市立妻沼西中学校
電話 048(588)1361
FAX 048(589)0496
令和7年12月24日
第23号

『 荻野吟子さんのころざし 』

校長 清水 利浩



校庭の脇にあるプレート R7.12.19 撮影

本校には、郷土妻沼の偉人である荻野吟子さんのプレートがあります。**荻野吟子さんが、公許女医第一号**となったのは、1885（明治18）年のことです。その1年前に行われた医術開業試験は、受験者数が800名を越え、荻野吟子さんを含めて5人の女性が受験しました。

吟子さんの志は、半端なく高いものでした。このことを知る資料があります。吟子さんが、この試験に臨む

にあたり、その心境と決意を『女学雑誌』という書物に記していました。

「試験を目の前にして私はとても緊張した。度重なる請願の却下と落胆の大きさに
より、受験の準備に力を入れることができなかった。しかし、めぐってきたこの機会に自分
がもし落第するならば、幾度にもわたる請願で驚かせてきた内務省に対して、そして、私
につづく後進姉妹にも大きな影響を与えてしまうだろう。今後、女子教育が盛んになるの
か、日本の女子が元気を得て活躍できるかは、私が合格するかどうかにかかっている。」

**吟子さんは、自らの試験の合否が、日本の全ての女性に影響を及ぼすであろうというこ
と見据えて深い決意を記したのです。下線を引いた「めぐってきたこの機会に自分
がもし落第するならば」からの言葉からわかるように、吟子さんは自分自身を日本の女性の先覚
者と自覚して、試験に臨みました。そして、吟子さんは、女性としてただ一人、この試験
に合格したのです。**

郷土妻沼の先人の志や学びに対する思いは、現在の私たちにも大いに参考になるもの
であると思います。今回取り上げた荻野吟子さんに関する書籍は、妻沼西中学校の図書室
にも配架されています。是非、手にとってください。

＜参考書籍＞『熊谷市史 調査報告書 荻野吟子ーその歩みと出会い』令和5年 熊谷市・熊谷市教育委員会 P127

『マンガで紹介 荻野吟子～女医のパイオニアは埼玉出身～』令和3年 埼玉県県民生活部男女共同参画課